

WHO ファクトシート

認知症

Dementia

2017年5月

重要な事実

- ・認知症とは、記憶、思考、行動及び日常生活の活動能力に低下がある症候群である。
- ・認知症は主に高齢者に現れるが、正常な老化の一部ということではない。
- ・世界では4700万人の認知症患者がおり、毎年990万人が新たに認知症を発症している。
- ・アルツハイマー病は、認知症の主原因であり、全体の60～70%を占める。
- ・認知症は、世界中の高齢者にとって、障害と要介護を引き起こす主な原因のひとつである。
- ・認知症は、介護者、家族そして社会にとって、身体的、心理的、社会的、経済的な影響を及ぼしている。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Dementia ファクトシート原文は [こちら](#)